



あなたの声をリレーする



CONTENTS

- 新年のごあいさつ 2-3P
- 「五反分秘書と石田議員を語ろう」 in 県南・会津 報告 4-5P
- おじゃまします 6-7P
- リーダー研修報告 8P
- 議員と看護を考える会 9P
- 研修報告/新年交礼会案内 10P
- ポリナビワークショップinふくしま 2024 11P



今年の
一文字

昌

福島県看護連盟会長
佐藤 美重



新年明けましておめでとうございます。昨年は、石田議員の県北・相双・いわき・郡山地区、五反分政策秘書の県南・会津施設訪問で大変お世話になりました。

「今年の一文字」には「昌」を選びました。石田昌宏議員の「昌」です。「昌」は、繁栄や発展、幸福などを表す漢字です。また、良い状態が続くことや、吉兆を示すこともあります。「昌」は、太陽が昇る様子を表した象形文字から派生したとされています。

いよいよ今年は決戦の時です。福島の想いが届くように全力で取り組んでまいります。ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の
一文字

柔

日本看護連盟会長
高原 静子



新年、明けましておめでとうございます。皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、年明け早々の能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。今年は「乙巳」の年です。「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。柔軟な心と知恵を持って、新たな挑戦に立ち向かいましょう！

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年の
一文字

柔

公益社団法人
福島県看護協会会長
佐藤 博子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より看護協会の運営にご尽力とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今年の干支「乙巳(きのとみ)」は、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しており、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になるとのことです。看護界においても様々な課題がありますが、皆さまとの繋がりを大事にして、「柔(しなやかさ)」を持って私たち看護職の明るい未来に邁進してまいりたいと思います。いい方向に向かいますようお願い、新年のご挨拶いたします。

今年の
一文字

誠

衆議院議員
あべ 俊子



昨年の衆議院議員解散総選挙で少数与党となった自民党。その厳しい中で文部科学大臣として石破内閣の一員となりました。政治に対する国民の信頼を失ったことに、こころより反省し、誠意をもって野党のみなさまと丁寧に話し合いながら、国民のための政治を行う。この国の国民と次世代へ送り継ぐ世界の平和を守るため、「まこと」をもって、誠心誠意、内閣の一員として、また一人の国会議員として国政に邁進してまいります。

文部科学大臣ご就任おめでとうございます

今年の一文字

進



参議院議員

石田まさひろ

福島県看護連盟のみなさま、日頃より温かいご支援に心より感謝申し上げます。

全国の多くの施設を訪問し、刻々と変化する現場課題を伺うなか、人口減少時代に突入した今「量を守り、質を追求する」ための看護政策の必要性を、強く感じました。

新しい年を迎え、地域の医療を守り抜き、時代に即した看護政策実現のため、更なる邁「進」を決意し、心を新たにしています。

引き続き国政の場で活動するため、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。

今年の一文字

支



参議院議員

友納 りお

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。

政府の一員として大臣をお支えし、制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように取り組んでまいります。

看護・医療に関する諸問題にも、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。看護の現場の声を国政に！初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。

今年の一文字

未



郡山市議会議員

遠藤 利子

今年の一文字は期待する未来への「未」です。

郡山市政100周年にて、未来を考える機会が多いので、未来の「未」です。100年前、先人は今をどう見るだろうと思いつつ、さらに100年先に思いを馳せる私です。

多くの人と「未来ノート」について語りました。課題はありますが、皆がご家族や知人と語り、未来について書き記して下さることへの期待。記したものは医療から地域へと広がる、看護がキーマンの期待のノートです。

実は、未熟の未の年でしたが、未来の自分に伸び代を期待します。

今年の一文字

変



会津坂下町議会議員

五十嵐 孝子

今年の一文字は、変化の「変」です。看護職を早期退職した後、2024年4月から町議会議員として地方自治の仕事をしています。最近、看護と政治の仕事は、似た所があると感じています。実際に、議会一般質問での問いの立て方は、看護研究そのものだと思いました。人々の「いのち」「健康」「暮らし」を守るために、是非皆さまも政治の世界に入りたいです。それらの視点から政策を考えられるのは、皆さまの強みだと思います。

五反分秘書と石田議員を語ろうin 県南・会津

日程: 2024.10.31(木)~11.1(金)
 内容: 五反分政策秘書より「秘書から見た石田議員」
 意見交換



福島県看護協会の会長・専務・常務とかんごちゃん



須賀川病院



会田病院



まさひろ君

会田理事長は
 81才(若く見える)
 「生涯現役を貫く!」と
 の力強いお言葉



南東北春日リハビリテーション病院



白河厚生総合病院



石田議員が
 大好きです!
 (うれしい!)



埴厚生病院

飛知和幹事
 ありがとう
 ございました





有隣病院

高橋部長と
佐藤会長は
旧知の仲です



坂下厚生総合病院



会津西病院



高田厚生病院



竹田総合病院



会津中央病院

子育て世代の
支援について要望が
ありました



会津地区の
みなさん
ありがとう♡



お会い出来た皆様
大変お世話になりました！

県南・会津施設訪問 総括

五反分秘書は6年ぶりの来県、看護協会と12病院に訪問(1施設約30分)し、130名に会うことができた。まさひろくん人形(秘書の母上作成)で場の空気を和ませ、資料を使い石田議員の紹介を10分間行った。その後、1施設2テーマに限定し意見交換を行った。事前に石田議員との打ち合わせを済ませた内容を秘書が話すことで、議員への信頼も高まった印象であった。五反分秘書から見た石田議員は、誠実かつ真面目で真剣に取り組む好人物との評価であった。「石田議員以外の政策秘書(国家公務員)はやりたくない。」の言葉が心に残った。

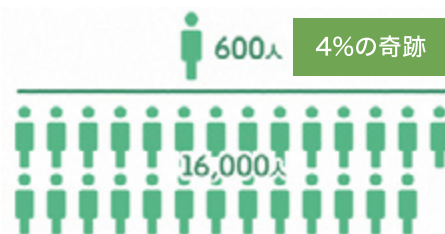
移植医療の現状 普及啓発の取り組み

1 臓器移植

重い病気や事故などにより臓器の機能が低下した人に、他者の健康な臓器と取り替えて機能を回復させる医療です。第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。日本で臓器の移植を希望して待機している方は、およそ16,000人です。それに対して移植を受けられる方は、年間およそ600人となっています。

2 臓器提供

臓器提供は、脳死後あるいは心臓が停止した死後にできます。2010年7月17日に改正臓器移植法が全面施行され、生前に書面で臓器を提供する意思表示をしている場合に加え、ご本人の臓器提供の意思が不明な場合も、ご家族の承諾があれば臓器提供できるようになりました。これにより、15歳未満の方からの脳死後の臓器提供も可能になりました。



3 4つの権利の尊重

- ①本人の臓器提供に関する意思は尊重されること
- ②臓器提供は任意であること
- ③臓器移植は適切に行われること
- ④移植を受ける機会は公平であること



つまり、臓器提供は自らの意思が尊重され、任意に行われるもので、提供された臓器は移植を待つ患者に公平・公正・適切に配分・移植されることが求められています。そして、臓器移植は、善意による臓器の提供により成り立つ社会性の高い医療です。一人ひとりが、自分の死後に臓器を「提供する」「提供しない」、あるいは移植が必要なほど重い臓器の機能不全となったときに移植を「受ける」「受けない」、これら4つの権利を持ち、どの考え方も自由に選択でき等しく尊重されるべきものです。「提供したくない」「移植を受けたくない」という人の気持ちは尊重された上で、臓器を「提供したい」という人から「移植を受けたい」という人への公平・公正な橋渡しが行われることが重要です。

4 福島県内での普及啓発活動の様子

県民の皆様に移植医療について・意思表示の大切さについて知っていただくために、様々な活動を行っています。

【各イベントや公共施設での啓発活動】



【出前講座】

中学校特別の教科「道徳」では7社中6社の教科書で臓器移植がいのちの尊さを学ぶ題材として掲載されています。臓器移植をテーマに、一人ひとりが命のこと、自分自身の気持ちについて考え、思いを伝えることの大切さについて学ぶための出前講座を行っています。



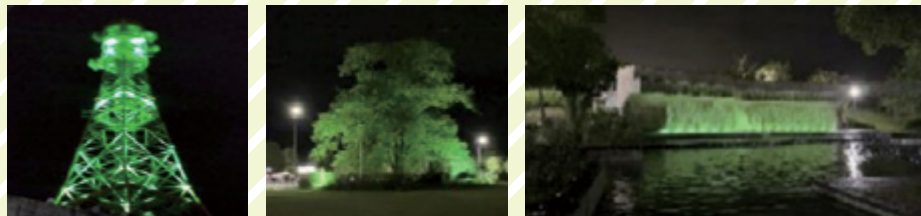
【医療者向け研修会の開催】

実際に患者さんとそのご家族に関わる医療従事者を対象とした研修会を開催し、私たちは“なぜ臓器提供に関わるのか”“どのように臓器提供に関わるのか”を考え、適応判断や実際の対応を学び、終末期にある患者さんとそのご家族への支援について理解を深めています。



【10月16日の「移植の日」グリーンリボンデー】

毎年10月は「移植の日」グリーンリボンデーを中心に、「臓器移植普及推進月間」となっています。臓器移植医療への理解が広がることを願って、全国各地の著名なランドマークや建物を移植医療のシンボルカラーであるグリーンにライトアップにする“全国グリーンライトアップキャンペーン”を福島でも行い、毎年多くの団体の協力のもと県内各地でライトアップを行っています。



お問合せ・質問・御相談

(公財)福島県臓器移植コーディネーター 舟山久美・関口志保子
TEL:024-521-9027 PCmail:f-jin-co@drive.ocn.ne.jp

広報委員 高久

参議院議員

友納 理緒



福島県看護連盟

青年部委員

意見交換会



友納議員と看護連盟青年部委員

医療DX

Q DXに関して、看護師として注意すべきことは？

- ・個人情報の管理
- ・サイバーセキュリティ対策
- ・災害等で電子カルテが止まった時の対応

看護師確保

Q 若者に看護の魅力を伝えるには

- ・SNSで小中学生に向けたアピールを！
- ・地方に戻りやすくするための環境整備

医療DX

Q デジタル格差！政府の対策は？

- ・電子カルテ普及率は200床以下医療機関の50%。普及を推進し底上げを目指す！！

処遇改善

Q 子育て世代以外の処遇改善は？

- ・育児休業者以外の勤務者へのインセンティブ補助の拡充

コンプライアンス研修後の1時間、青年部11名で友納議員と意見交換ができました。まだまだタスクシフトや子育て対策など聞きたいことが沢山ありました。福島の看護の現状や悩みについてなど様々な意見に耳を傾け真摯に返答してくれました。私たち看護師の未来に向けた意見交換となりました。



内閣府政務官室にて



政務官記念撮影



エチオピア視察 Obaleヘルスセンター (Daghabur)

議員と看護を語る懇談会

日時:2024.12.18日(水) 16:00～ 場所:自民党福島県支部連合会
参加者 自民党県連22名 福島県看護連盟12名

議会最終日に補正審議が行われ、医療関係には燃料高騰などの補正が19億円、看護師要請施設については15施設に360万円の補正が審議されたと報告があった。

福島県看護連盟からは県中地区の坂本幹事より「看護現場の諸問題」をテーマに講義を行った。様々な現場の問題をわかりやすく、熱い思いで講義している坂本幹事の話を県議の方が真剣に聞かれていた。情報を共有することでまた一歩県議の皆様との距離が近づいたのではないかと思える懇談会であった。



令和7年度予算要望活動

日時:2024.12.9日(月) 13:00～ 場所:自民党本部
参加者 福島県選出国會議員 福島県議會議員 各団体等 計87名



県会議員・医師会・薬剤師会・老健協議会代表者の方々と厚生労働省に陳情に行ってきた。伊原和人厚生労働事務次官に要望書を提出しました。「ベースアップ評価料の活用を期待している。」とのコメントがありました。



研修報告①

リーダー研修

日時:2024.9.8日(日) 10:00~12:00
場所:看護会館みらい 参加者:114名

友納理緒参議院議員をお招きして「コンプライアンス研修」が行われました。医療現場での問題や、政治活動・選挙活動における問題について、実際の事例を交えて分かり易く講義していただきました。友納議員のパワフルな活躍と2児の母としてのやさしさの両方を感じた研修でした。

研修報告②

2024年度 都道府県別会議

日時:2024年11月29日(金)13:00~15:00
場所:福島県看護連盟事務所、ZOOM

参加者:日本看護連盟役員(3名) 福島県看護連盟役員(15名)・支部長(24名)・
青年部委員(7名)・広報委員(4名) 支部長役員(支部幹事長・幹事・
青年部代表者・施設連絡員・病棟連絡員・青年部連絡委員39名)
看護協会役員(オブザーバー1名) 合計92名

「第27回参議院議員選挙」について日本看護連盟近藤幹事長から説明があり、「福島県の応援する会に関する現状と課題」について会長から報告があった。その後、地区ごとの課題を幹事から、支部ごとの状況は支部長から報告し協議した。総評として病棟連絡員の負担軽減のため、複数配置の案が近藤幹事長から示された。

研修報告③

新春のつどい

日時:2025年1月9日(木)13:30~16:00
場所:看護会館みらい

参加者:看護管理者(83名)

看護協会と連盟の共催で新春の集いが開催された。

講演Ⅰ:「看護職へのメッセージ」日本看護協会高橋弘枝会長

講演Ⅱ:「看護師にできること」日本看護連盟高原静子会長



一般研修 ポリナビワークショップ inふくしま 2024

～若い力で職場を良くしたい!～ 一緒に考えてみませんか

日時: 2025年3月15日(土)9:30~12:30(受付9:00) 場所: メグレスホール(星総合病院)

ポリナビとは??

「Politic(政治) Navigator's(航海士)Network(他の人と関わりを持つ)」の略であり、政治・政策の学びを通して、自分たちにできることを考え実行することで、日本の看護・医療がより良いものになることを目指す活動です。

一般研修でプレゼン力を!
ポリナビでは青年部支部結成
記念シンポジウムを開催します。
是非ご参加ください!!

一般研修

「効果的なプレゼンをするために必要なこと」

講師: 日本看護連盟 幹事 岡山 堯憲 先生

ポリナビワークショップ(シンポジウム)

「届けよう看護の声を! 私たちの未来へ」

日本看護連盟幹事 岡山 堯憲 氏

「未来の福島に今、何が必要か?」

福島県議会議員 鈴木 優樹 氏

「弁護士から見た日本の医療の未来」

衆議院議員 根本 拓 氏

参加申込はこちらから



第19回連盟クイズ

問

看護連盟に関係の深い人物です。

空欄の部分を埋めて氏名を完成させてください!!

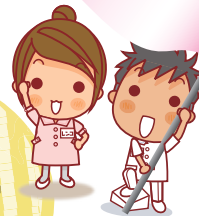
- ・高原 □子 日本看護連盟会長
- ・佐藤 美□ 福島県看護連盟会長
- ・あべ □子 文部科学大臣
- ・□田 まさひろ 参議院議員
- ・友□ りお 参議院議員

- A:山 B:騒 C:静
- D:薄 E:重 F:年
- G:川 H:俊 I:石
- J:岩 K:治 L:能
- M:納 N:竹

当選プレゼント

鳥久ペア
お食事券2名
+1,000円
QUOカード3名

応募
待ってるよ!



応募方法 ● このページのQRコードからアクセスまたはハガキにて必要事項をご記入の上ご応募ください。

応募はこちらから

<必要事項> ● 1.クイズの答え 2.郵便番号 3.住所 4.氏名 5.電話番号 6.勤務先

応募宛先 ● 〒963-8874 郡山市深沢一丁目2-10 福島県看護連盟 宛

締切 ● 2025年3月3日(月) 当日消印有効

当選発表 ● 賞品を発送した上で、次号の広報誌にお名前を発表します。

※当選者は福島県内に在住または勤務の方に限らせていただきます。会員・非会員は問いません。



LINE公式アカウント「アンフィニ」の 友だちになってください!

看護の専門に関するだけでなく、それ以外のトピックも含め日々の看護に役立つような情報をお届けいたします。皆様のお声もいただきながらコンテンツの作成および整理に取り組んでまいります。どうぞ下記からご参加くださいませ。

日本看護連盟公認LINE
公式アカウント
「アンフィニ」



令和7年度
会員募集中!

正会員
年会費/7,000円

しゃくなげ会員(看護職OB)
年会費/5,000円

退職後も会員の継続をお願いします。

福島県看護連盟instagramフォローしてね!



編集後記

2025年最初の広報誌をお届けしました。皆様は新年をどのように迎えられましたか。看護の現場では、新年を迎える間もなく、業務にあたられた方も多い事でしょう。広報では本年も看護職の皆様に見る看護連盟の活動や取り組みを広く発信してまいりますので、変わらぬご支援とご参加をお願い申し上げます。本年も看護職の皆さまにとって充実した一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

広報委員 国谷里香

●広報委員メンバー

委員長/高久 秀樹(総合南東北病院)

委員/三瓶 華蓮(日東病院)

委員/伊藤 裕子(公立藤田総合病院)

委員/国谷 里香(公立岩瀬病院)